

有限会社アドバンク 御中



KODAK CTP/Staccato
テクノロジー資料

コダック ジャパン
プリントシステム営業本部

KODAK CTP機器比較



製品名称	TRENDSETTER Q400 SCU (ご提案機種)	Magnus 400 Quantum MCU (現行機種)
リリース年	2015年 ※1	2009年
スループット	X-Speed 54版/時間 (※670x550mm使用時)	F-Speed 39版/時 (※724×615mm使用時)
最小露光可能サイズ	305x383mm	300x228mm
対応プレート	各メーカー全種ポジ、ネガ	各メーカー全種ポジ、ネガ
特徴	SQUARE spotレーザー搭載 (高精細の版面への焼き付けが可能) 低消費電力	SQUARE spotレーザー搭載 (高精細の版面への焼き付けが可能)
スクリーニング	KODAK Staccatoスクリーニング対応(FM20 μ) 最大スクリーニング線数：AM450線	KODAK Staccatoスクリーニング対応(FM20 μ) 最大スクリーニング線数：350線
品質	ご提案線数：Staccato20(FM20μ) AM450線相当	現行線数：Staccato20(FM20 μ) AM350線相当

※1 SCUモデルの発売年



KODAK CTP/Staccatoテクノロジー

『Staccato』(FMスクリーニング)のメリット

1. 品質向上

- ・ 広い色再現領域
- ・ 写真画質の滑らかな階調再現
- ・ 線切れ、モアレの無いシャープな再現
- ・ 色調再現の一貫性

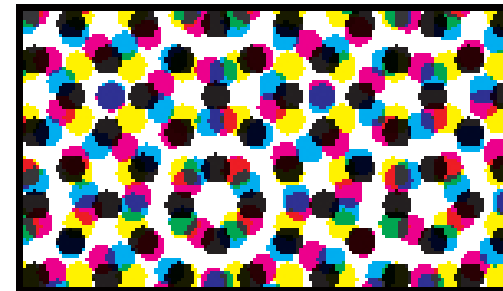
2. 効率化

- ・ 製作時に線切れ、モアレの考慮を必要としない
- ・ インキの乾燥が短く、セットが早い
- ・ 見当ズレの影響が少ない

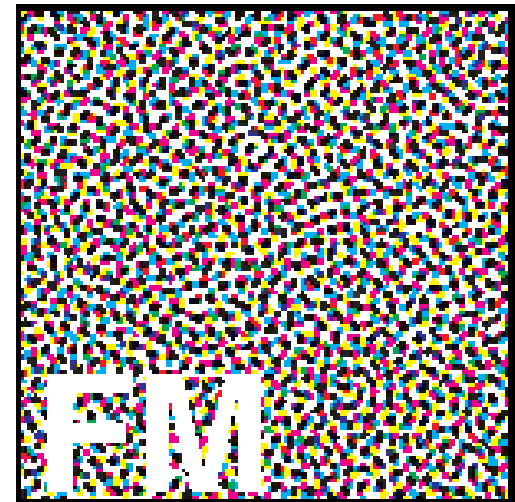
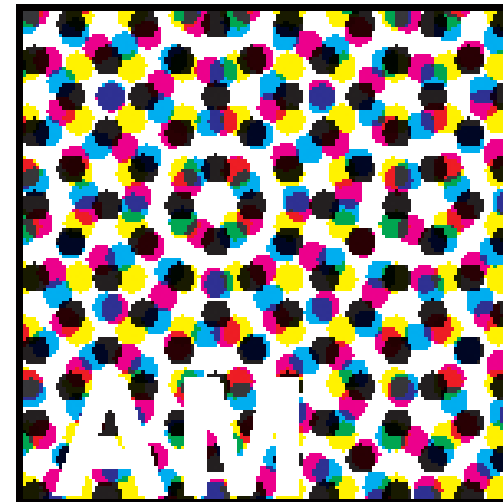
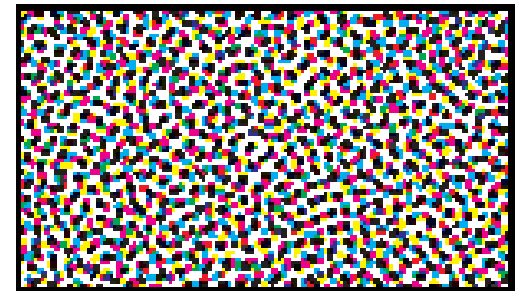
3. 経済性

- ・ インキ使用量の削減、損紙の削減
- ・ 特色的効果

175線

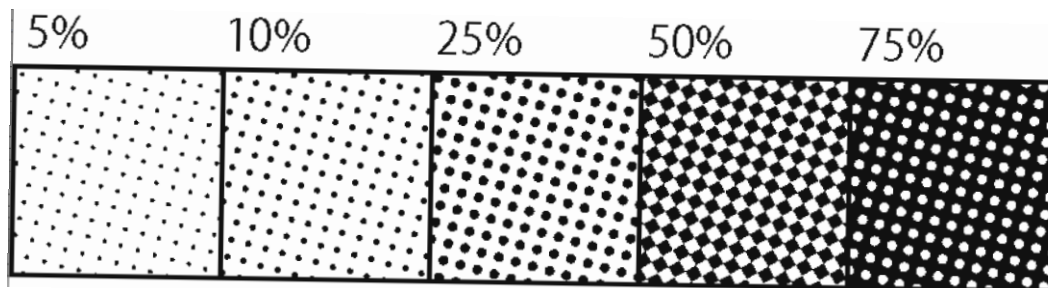


Staccato

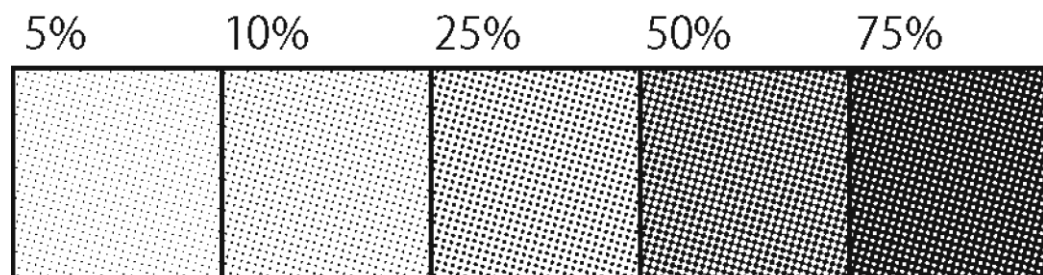


KODAK CTP/Staccatoテクノロジー

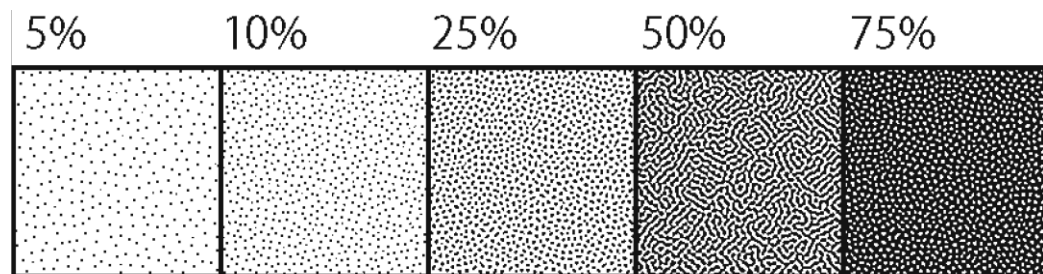
AM175線
(一般的な線数)



AM400線



Staccato20
FM20 μ (AM450線相当)
※ご提案運用



ドットの大きさが変化する
(線数が上がるにつれて点付きが細くなる)

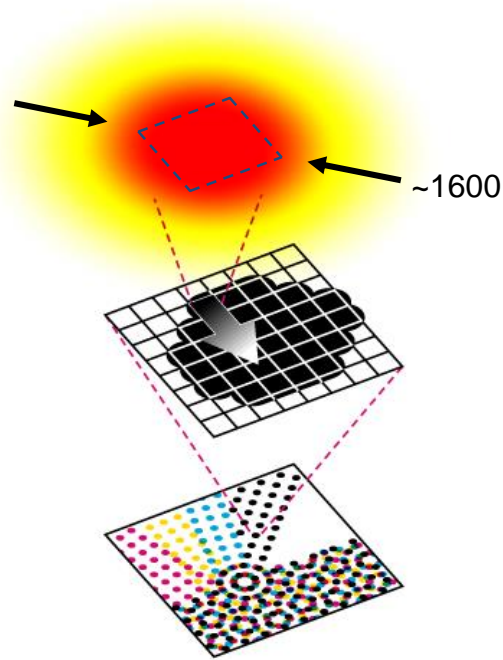
ドットの数が増える
独自のドット配置により滑らかな再現



KODAK CTP/Staccatoテクノロジー

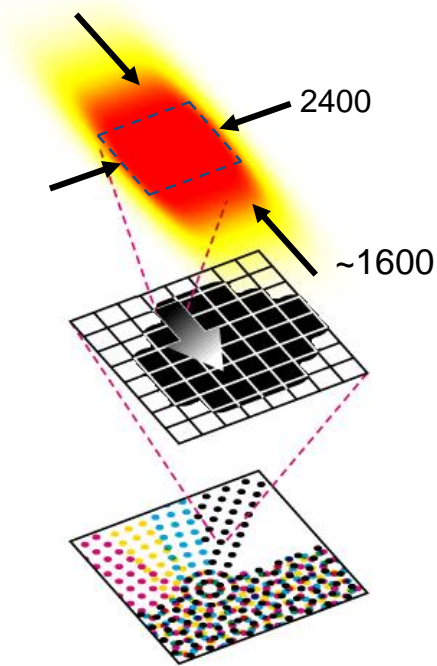
SQUARESpotの光学解像度が階調安定と均一性を生む

ガウシアンレーザー技術



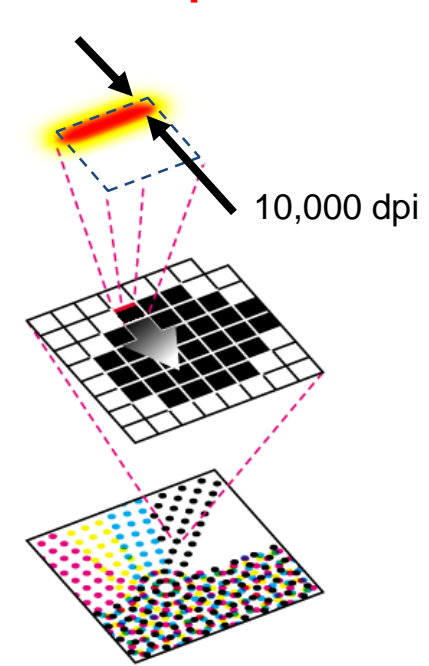
バイオレット, サーマル
24-64 channels
階調安定性- LOW
露光均一性 - LOW

GLV レーザー技術



サーマル
256-512チャンネル
階調安定性 - medium
露光均一性 - LOW

SQUARESpot 技術



サーマル
240-448 チャンネル
階調安定性 - HIGH
露光均一性 - HIGH



KODAK CTP/Staccatoテクノロジー

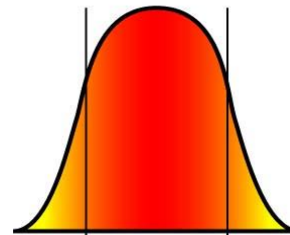
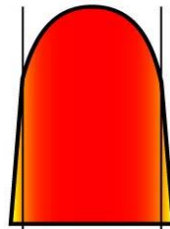
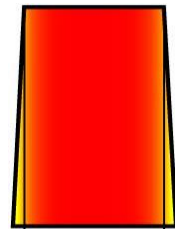
レーザー光源の形状と強度分布

SQUAREspot/KODAK

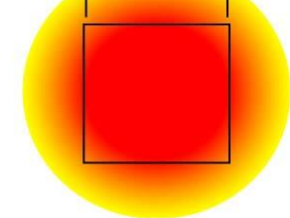
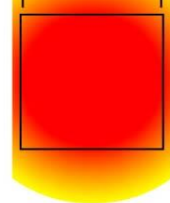
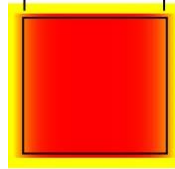
GLV

ラウンドスポット/他社製品

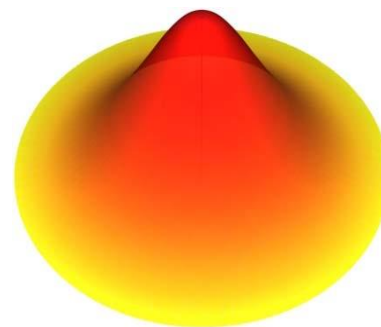
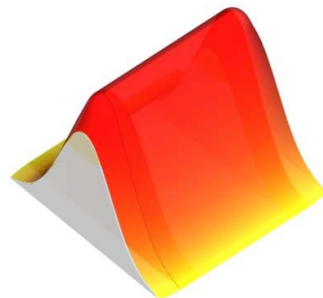
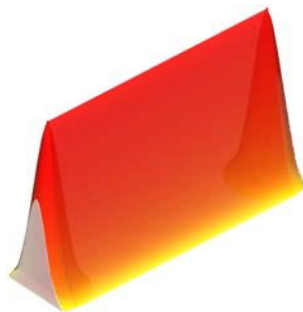
強度分布



スポット形状



強度分布(3D)



SQUAREspotテクノロジーにより
高品質の網点描写、露光が可能
Staccato(FMスクリーニング)と
組み合わせることで高精細の印刷が可能